

# 紫川 マイタウン・マイリバー 整備事業

MURASAKI RIVER  
MY TOWN MY RIVER PROJECT

MY TOWN  
MY RIVER  
PROJECT  
since  
1990

川が光る、  
人が輝く。  
安全で創造的な水景都市をめざして





# 紫川マイタウン・マイリバー整備事業とは

## 安全で創造的な水景都市をめざして

100年に一度の大雨に耐えられる安全な川づくりを進めるとともに、道路や公園、市街地整備などを一体的に整備し、民間と行政が協力しながら、200万都市圏にふさわしい北九州市の顔づくりを進めています。

北九州市の  
顔づくりを進める事業です

紫川は、北九州市の都心部を流れるシンボリックな川です。川とその周辺を整備することにより、200万都市圏にふさわしい北九州市の顔づくりを進めています。

洪水が起きないように  
する事業です

下流部を中心に川幅を広げ、川底を掘り下げて、100年に一度の大雨が降っても洪水が起きないように安全な川にするために、事業を進めています。

河川と周辺の市街地の整備を  
一緒に進めている事業です

紫川を整備するだけでなく、周辺の公園や道路や市街地などの整備を共に進めていくことによって、バランスのとれた総合的なまちづくりを進めています。

民間と行政が力を合わせて  
進めている事業です

河川の整備が進むとともに、まわりの建物も、川を意識した川の風景を生かしたものに変わってきています。民間と行政が協力しながら、川に開かれたまちづくりを進めています。

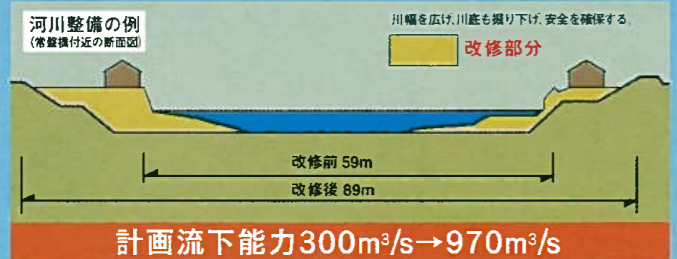
紫川マイタウン・マイリバー整備事業エリア図



### 洪水予防は「より広く」「より深く」

洪水を防ぐ一番の方法は、川の水を流れやすくすることです。そのためには、川幅を広げ、川の底を掘り下げる必要があります。さらに、橋脚の数を減らせば、洪水の時にも水の流れを妨げることがなくなります。

紫川マイタウン・マイリバー整備事業では、下流の川幅を広げ、掘り下げることによって、洪水が起きないように安全な川づくりを進めています。



### 計画の概要

- ①計画対象区域/JR鹿児島本線鉄橋から国道3号線貴船橋までの区間延長約2.0km 面積約170ha
- ②事業期間/平成2年度～26年度(予定)



# 紫川 10 橋

紫川に架かる10本の橋のテーマは「自然」。  
「自然再生」のシンボルとして整備が進められてきました。

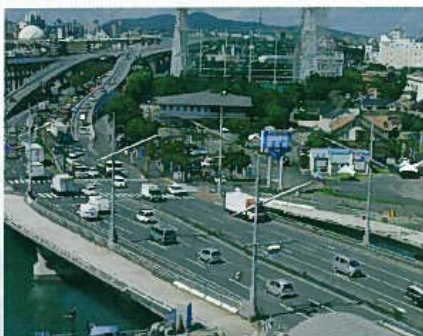
MAP①

## 海の橋「紫川大橋」

平成5年4月完成

長さ87.0メートル 幅員35.0メートル

海に最も近く、街路灯は船のマスト、橋脚は船の舳先(へさぎ)をイメージした曲線の優雅な橋。歩道が車道より高い位置にあるため、歩きながら目の前に広がる海の眺めを楽しめます。



MAP②

## 火の橋「室町大橋」

平成3年4月完成

長さ77.3メートル 幅員15.0メートル

明治末まで紫川で行われていた鵜飼いの漁り火をモチーフとして、橋の両サイドにガスの炎を配しています。欄干は波を表現し、見る角度や歩く速さによって表情の微妙な変化が楽しめます。



MAP③

## 木の橋「常盤橋」

平成7年3月完成

長さ85.0メートル 幅員6.0メートル

旧長崎街道の起点であった歴史性を考慮し、歩行者専用の太鼓橋として整備されました。また、天然木だけで組み立てられた江戸情緒漂う「木の橋」は、時代を超えて行き交う人々に親しまれています。欄干の擬宝珠(ぎぼし)は270年前のものを復元しています。



MAP④

## 石の橋「勝山橋」

平成12年8月完成

長さ88.0メートル 幅員40.0メートル

小倉城の石垣をコンセプトとした石畳の歩道には、小倉織が水面に漂うさまが表現されており、落ち着いた日本的な雰囲気がかもし出しています。公園区域となっている広い歩道部分ではオープンカフェなどのにぎわいづくりにイベントを開催しています。



MAP⑤

## 水鳥の橋「鷗外橋」

平成12年3月完成

長さ90.0メートル 幅員5.0~20.0メートル

小倉にゆかりの深い明治の文豪・森鷗外、市民に親しまれてきた「鷗(かもめ)」の彫刻、紫川によみがえってきた鳥の3つの要素を組み合わせ、水鳥(かもめ)をデザインしたユニークな歩行者専用橋。



MAP⑥

## 月の橋「紫川1号管理橋」

平成20年1月完成

長さ25.0メートル 幅員5.0メートル

神楽川(かんたけがわ)が紫川に注ぎ込むこの位置からは、小倉城と市庁舎が同時に見えます。小倉の昔と今を代表する二つの建築物が、はるかな時代を超えて月明かりに浮かぶ情景は幻想的です。



MAP⑦

## 太陽の橋「中の橋」

平成4年5月完成

長さ79.2メートル 幅員36.0~43.0メートル

歩道に配置された色鮮やかな模様は、高い所から眺めると「太陽のコロナ」のように見えますが、橋のたもとに立ってみると、丸い大輪の「ひまわり」に見えるようにデザインされています。また、欄干は市を取り囲む山並みをデザインするなど、北九州市を代表する橋としてシンボル性を持たせています。



MAP⑧

## 鉄の橋「紫川橋」

平成10年12月完成

長さ83.5メートル 幅員25.0メートル

以前の橋は橋脚が9本と多く、浸水の恐れがあったため、工期短縮と治水の面からアーチ橋となりました。「旧通称 陸軍橋」「鉄の街・北九州」「ニューインダストリアル」をキーワードに、鉄の持つ豪快さ、柔らかさ、繊細さなど、鉄のさまざまな表情を表現したデザインになっています。



MAP⑨

## 風の橋「中島橋」

平成4年7月完成

長さ82.6メートル 幅員30.0メートル

遠くからでも見える大きな風のモニュメント「銀河の舟」は、川の上の空間を走り抜ける自然の風がテーマとなっており、橋としての機能性と人を引きつけるアート性を同時に追求しています。



MAP⑩

## 音の橋「豊後橋」

昭和58年6月完成

長さ75.7メートル 幅員16.0メートル

紫川10橋では一番上流に位置します。斜張橋の外観は楽器のハーブを連想させ、リズムカルな親柱のデザインもまた、音のイメージとなっています。江戸時代には、常盤橋とこの豊後橋しかありませんでした。





# 主な拠点開発

美しさと、にぎわいを取り戻した紫川を中心に、新しい都心、新しい北九州市の顔が生まれようとしています。

MAP A

## 室町一丁目地区市街地再開発事業 リバーウォーク北九州

勝山公園、小倉城などの自然や歴史的遺構に囲まれた紫川沿いにあるリバーウォーク北九州。専門店街などの商業ゾーン、ホールやギャラリーなどの文化ゾーン、新聞社・放送局などの情報発信ゾーン・都市型キャンパスなどの教育ゾーンからなる大型複合施設で、多くの来場者で賑わっています。



MAP B

## 人工の滝

市民から寄せられたアイデアをもとに整備した施設。幅約50メートルで、人工の滝としては全国でも最大級の規模を誇ります。滝の上には浅い水たまりや噴水があって、気軽に水と親しめる、市民の憩いの場所になっています。



MAP C

## 紫江'S 水環境館

「川」と「水」をテーマにした体験型学習施設で、大きな河川観察窓から四季折々の紫川の中の様子を観察することもできます。地上部には、民間の飲食施設や河川展望デッキがあります。平成12年7月オープン



MAP D

## 小倉城庭園

小倉城の東側にある小倉城主・小笠原氏の下屋敷跡に、江戸時代の大名屋敷を再現した、全国でも珍しい「礼儀作法のテーマ館」で、愛称は小笠原会館。書院棟、展示棟、日本庭園からなり、書院棟には武家屋敷の様式を再現した和室があります。



MAP E

## 洲浜ひろば

江戸時代にあった洲や干潟をイメージした広場。潮の干満によって1.6メートル前後の潮位の変化があり、その干満をうまく利用することで、浜が出現したり、なくなったりと、さまざまな変化を楽しめる都会のオアシス。水辺では魚やカニを間近に見ることができます。



MAP F

## 馬借一丁目1番地区優良建築物等整備事業 KOKURA TOWER

小倉駅の南西約500メートル、北九州市の中心商業地に位置しており、低層部を商業施設とする分譲住宅です。建物をセットバックし、隣接する河川護岸や歩道と一体になった公開空地を整備することで、良好な市街地環境を形成しています。



MAP G

## 紫川馬借地区市街地再開発事業 クラウンパレス小倉

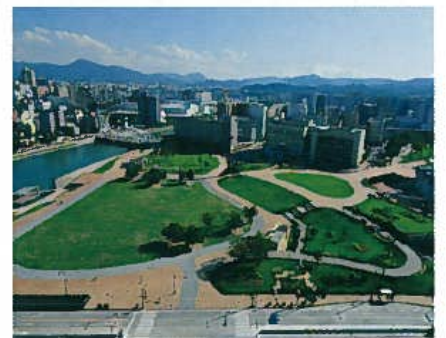
太陽の橋上流の東岸に位置する都市型ホテルなどが入居した、地下2階、地上9階建ての建物です。紫川と一体となった市街地整備の第1号で、行政と民間が協力して行った事業です。川岸には、散歩道や階段状の緩やかな護岸が整備されています。



MAP H

## 勝山公園大芝生広場

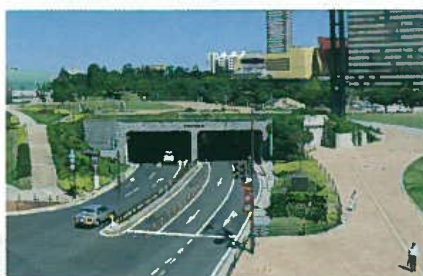
北九州市のシンボル公園に位置づけられている施設。周辺には文化施設や商業施設があり、都心部のオアシス空間として多くの市民に親しまれています。周辺の河川や道路を一体的に整備しており、年間を通じて多様なイベントが開催されています。



MAP I

## 都市計画道路 城内大手町線

小倉都心部から都市高速道路へのアクセス改善を図るために整備されました。勝山公園と一体的に整備されており、大芝生広場を分断しないようにトンネルを設置しています。



MAP J

## 松本清張記念館

社会派推理小説をはじめ、歴史、小説、古代史、現代史など、様々なジャンルに渡って創作活動を続けた北九州市出身の作家松本清張の「人と作品」を様々な資料と映像でとらえ展示する施設です。「清張文学の全貌」コーナーや企画展示室、東京都杉並区の氏の自宅及び書庫、応接間、書斎などが再現されています。





# 紫川マイタウン・マイリバー整備事業エリア図

紫川マイタウン・マイリバー整備事業対象区域



## 紫川を中心に にぎわいが生まれる。

紫川やその周辺では、四季を通じてさまざまなイベントが繰り広げられています。また、休日には多くの人々が水辺で憩いのひと時を過ごしています。





# 100年に1度の大雨に耐える川へ 1953 昭和28年 北九州大水害

紫川は河口部の川幅が上流部より狭くなっているため水害が起きやすく、かつてはたびたび氾濫する川でした。なかでも1953年(昭和28年)6月28日から降り続いた雨は、4日間で年間雨量の3分の1という記録的な大集中豪雨となって北九州一帯を襲い、紫川は氾濫。旧小倉市では全世帯の8割が浸水被害を受けるなど、未曾有の大惨事となりました。



# 1987 昭和62年 マイタウン・マイリバー整備事業創設

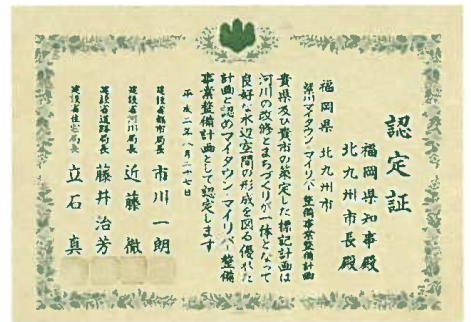
1987年(昭和62年)に、旧建設省が「マイタウン・マイリバー整備事業」を創設しました。この整備事業は、河川事業のみならず、道路、橋梁、公園といった都市基盤整備を一体的に計画・実施し、合わせて、都市の顔となる民間開発を進めることで、水辺を生かした街づくりを行うというものです。

# 建設省より紫川マイタウン・マイリバー整備計画が認定

平成2年

# 1990

「紫川マイタウン・マイリバー整備計画」の認定後、市民アイデアが盛り込まれた整備計画に従って、紫川とその周辺は、川と市民と都市機能が調和した環境共生のまちに生まれ変わっていきます。



# 2007 平成19年 美しいまちなみ大賞受賞

賑わいのある魅力的なまちづくりが行われていることが評価され、平成19年度都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、国土交通大臣による表彰である「美しいまちなみ大賞」を受賞しました。



- |         |                                  |  |   |
|---------|----------------------------------|--|---|
| 昭和62年   | 建設省がマイタウン・マイリバー整備事業制度を創設         | 平成10年9月                                | 「小倉城庭園(愛称:小笠原会館)」開館                         |
| 昭和63年2月 | マイプラン「紫川」市民アイデア募集                | 平成10年10月                               | 船場町4番地区優良建築物等整備事業(井筒屋新館)完了                  |
| 昭和63年6月 | 紫川がマイタウン・マイリバー整備河川に指定            | 平成10年10月                               | 「洲浜ひろば」が平成10年度「手づくり郷土賞」受賞                   |
| 平成元年4月  | 紫川景観整備諮問委員会から「紫川周辺整備基本構想」の答申を受ける | 平成10年12月                               | 紫川橋「鉄の橋」完成                                  |
| 平成元年10月 | 紫川リバーウォーク開催(以後、毎年実施)             | 平成11年1月                                | 新小倉北区役所開庁                                   |
| 平成2年8月  | 紫川マイタウン・マイリバー整備計画の認定を建設省から受ける    | 平成11年10月                               | 「総合保健福祉センター(愛称:アシスト21)」完成                   |
| 平成3年4月  | 室町大橋「火の橋」完成                      | 平成12年3月                                | 鶴外橋「水鳥の橋」完成                                 |
| 平成4年5月  | 中の橋「太陽の橋」完成                      | 平成12年7月                                | 「室町一丁目地区市街地再開発事業」着工                         |
| 平成4年7月  | 中島橋「風の橋」と「浅野愛宕線」完成               | 紫江「S水環境館」開館                            |   |
|         | 「火の橋」が平成4年度「手づくり郷土賞」受賞           | 平成12年8月                                | 勝山橋「石の橋」完成                                  |
| 平成4年10月 | 都心部一方通行規制解除(1971年～92年 21年間)      | 平成13年12月                               | 消防局庁舎完成                                     |
| 平成5年4月  | 「室町駐車場」オープン                      | 平成14年4月                                | 船場町2番地区優良建築物等整備事業(福岡銀行小倉支店)完成               |
|         | 紫川大橋「海の橋」完成                      | 平成15年4月                                | 室町一丁目地区市街地再開発事業[I期](リバーウォーク北九州)完成           |
| 平成5年7月  | 「太陽の橋」が平成5年度「手づくり郷土賞」受賞          | 平成16年6月                                | 紫江「S II」完成                                  |
| 平成5年10月 | 「勝山公園地下駐車場」オープン                  | 平成18年3月                                | 勝山公園 市役所南側エリア完成(大芝生広場)                      |
| 平成6年5月  | 小倉城の堀の浄化                         | 室町一丁目地区市街地再開発事業[II期](西日本工業大学小倉キャンパス)完成 |   |
| 平成6年4月  | 小倉北区役所敷地拠点開発構想素案発表               | 平成19年4月                                | 勝山公園 中央図書館エリア完成                             |
| 平成6年7月  | 「海の橋」が平成6年度「手づくり郷土賞」受賞           | 平成19年5月                                | 紫川マイタウン・マイリバー整備地区が平成19年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞 |
| 平成7年3月  | 常盤橋「木の橋」完成                       | 平成20年1月                                | 紫川1号管理橋「月の橋」完成                              |
| 平成7年7月  | 「人工の滝」完成                         | 平成21年3月                                | 勝山公園子供遊び場エリア完成                              |
| 平成7年10月 | 「洲浜ひろば」完成                        | 平成23年3月                                | 西小倉駅前第一地区市街地再開発事業(小倉D.Cタワー)完成               |
| 平成9年7月  | 「紫川馬借地区市街地再開発事業」(東京第一ホテル小倉)完了    |  |   |
| 平成10年8月 | 「松本清張記念館」開館                      |  |   |

※現在 紫江のHOTELクラウンパレス

